

表紙のことは

内山絵琉「武蔵」



この作品は、私が前に飼っていた「武蔵」という猫がモデルになっています。武蔵はすごく甘えん坊で、私の姿を見るなり、かけ寄ってくる子でした。よくおなかを見せていて、その姿が印象に残っています。

猫の骨格や毛なみは、粘土に細かい線を一本一本引くことで表現しました。色を付けるときも、さまざまな色の釉薬を使って、毛なみに沿って慎重に塗りました。

粘土で作品をつくるのは2回目でしたが、今回も大変でした。完成したときは本当にうれしかったです。

壊れないように、大切に持ち帰り、お母さんへの誕生日プレゼントにしました。お母さんは、武蔵を見たときに目を輝かせ、「すごいじゃん、ありがとう」と言ってくれました。私はとても幸せな気持ちになりました。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



KAZU「おすましネコさん」

羊毛フェルトでの作品づくりは、病気になる前に趣味で始めたのがきっかけでした。

今は病気の後遺症で右手の自由が利かなくなってしまう、羊毛をフェルト化するのに以前より時間がかかります。

しかし、あきらめずに作品を完成させることができました。

ネコの顔の表情を出すのが思うようにいかず苦労しました。

これからもネコ以外のいろいろな動物にも挑戦していきたいと思います。